

「市長記者会見」の概要

■日時 令和6年11月18日（月）午後1時30分

■会場 千曲市役所 応接会議室・庁議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、(株)信州ケーブルテレビジョン、屋代有線放送、新建新聞
長野市民新聞

■内容（プレスリリース）

- 1 戸倉宿キティパークのネーミングライツ・パートナー及び愛称の再募集
- 2 有機野菜を使用したオーガニック給食の提供
- 3 令和6年第6回（12月）千曲市議会定例会日程及び提出議案

■市政全般について

【質疑応答】

○2期目の公約について

問 2期目の公約をどのように実現していこうと考えていますか。

回答 第3次総合計画を着実に進めていきます。今回の選挙で、子育て支援や教育関係で話したこどもの医療費の完全無料化については、令和7年度から始められるように準備をしているところです。また、大学誘致の関係は、清泉女学院大学及び地元の事業者並びに行政と、「学びのあり方」や「地域としてのサポート体制」などについて協議をしていきたいと考えています。

○財政状況について

問 市の財政状況についての説明はどのように進めていきますか。

回答 12月議会が開催されるにあたり、議員の皆さんへの説明会が設定されているので、市の財政状況について理解を深めていただけるよう説明していきたいと考えています。また、市の公式のYouTubeチャンネル、ホームページ、市報など、さまざまな機会を通じて説明をしていきたいと考えています。市と議会の共通認識のもとで、議員の皆さんにも、地元の方、後援会などを通じて説明していただくことを期待しています。

○市長選挙について

問 今回の勝因はどのように考えていますか。

回答 選挙戦を通じて、1期目に取り組んできたことや今後取り組んでいくことを伝えさせていただきました。実績や取組内容などについて、評価をいただいたと考えています。

○4年前の選挙戦との比較について

問 中野市、飯田市ともに前は新人が当選されていました。今回は現職が当選されていますが、何か感じることはありますか。

回答 首長の2期目の選挙は、一般的に勝率が高いといわれています。それぞれの自治体の状況が異なりますので一概には言えないですが、今回は私も含めて、飯田市、中野市の現職の実績が評価されたのではないかと考えています。2期目が始まりましたので、初心に返って、しっかりと緩むことなく市民のため頑張っていきたいと考えています。

○衆議院議員選挙について

問 衆議院議員選挙の結果について何か思うことがありますか。

回答 一般的に皆さんも感じていることかと思いますが、裏金の話などが反映された結果であったのではないかと考えています。今回の市長選もそうでしたが、政策論争が深まらなかったということは、衆院選についても言えるのではないかと考えています。

○長野県立歴史館について

問 県立歴史館が開館30周年ですが、これからの協力体制等についてはどのように考えていますか。

回答 引き続き県立歴史館と連携をしながら、森將軍塚古墳館との交流も含めて、さまざまな企画展などを通じて、さらに深化させていきたいと考えています。

終了 午後 2時07分